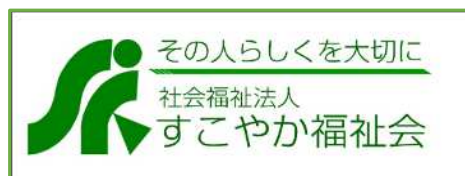


すこやか福祉会 2024 年度事業報告

2025年6月4日

社会福祉法人すこやか福祉会理事会



グループホームモルック大会 <デイサービスセンターすこやか>

1. 法人概要

■法人設立の目的・趣旨・経営方針

社会福祉法人すこやか福祉会の設立は、四ツ木診療所（医療法人健和会）の職員保育所として出発した無認可保育所「竹の子保育所」と同じく無認可保育所の「東金町保育園」が一緒になって認可保育園開設にむけて取り組み、「産休明けから預かる保育園を」と願う若い親たちと働きつづけることの大切さを感じ取っていた地域住民の方々の協力で葛飾区東金町に開設した「こぼとの森保育園」が原点です。

1998年（平成10年）2月に社会福祉法人の認可を得て今年で25年を迎え、今年度東京さくら福祉会を吸収合併したことにより運営する事業所数は2024年3月末現在で51ヶ所（分室・サテライト含む）となりました。

法人設立から今日に至るまで、私たちは一貫して「安心して住みなれた地域に住み続けられること」をめざして、東都保健医療福祉協議会を構成する法人の医療法人（健和会、南葛勤医協、アカシア会）や学校法人（東都医療福祉学院）、介護事業を担う法人（福祉協同サービス）、特定非営利活動法人（たんぼぼ会、

三郷おあしす会) やまた東京勤医会などの協議会以外の医療法人や社会福祉法人との連携を強め、医療と福祉のネットワークづくりに努力してきました。また、社会福祉法人のもつ高い公共性から社会貢献をめざし、子どもからお年よりまで病気であっても障がいを持っていても、安心してすこやかな生活をおくることができる福祉サービスを提供できるよう事業活動を展開してきました。

「法人の基本理念」に沿って、これからも福祉サービスを必要とする人々が、社会、経済、文化その他のあらゆる活動に参加する機会を得ることができるよう、総合的で質のよいサービスの提供をめざします。

すこやか福祉会の理念

1. 私たちは、命と人権をなによりも大切にします。福祉・介護サービスの提供にあたって、自立支援を重視し、安全に努め、その人らしく生きていくことを支援します。
2. 私たちは、国内外の福祉・介護サービスの実践と研究の成果に学び、サービス内容の改善充実に努めるとともに、病気や障害をもつ人々の生き方に共感し、ともに学び成長する職員の育成に努めます。
3. 私たちは、公共性の高い非営利の事業体として、事業内容の透明性を高め、情報の公開と共有を基礎に、民主的な運営と健全な経営に努めます。また、職員がやり甲斐と生きがいをもって生き生きと働きつづけられる職場づくりをめざします。
4. 私たちは、保健・医療・福祉の充実と地域に根ざしたネットワークづくりに努めるとともに、地域住民と交流を深め、理解と参加・協力を得よう努めます。また、人間が大事にされ、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献していきます。
5. 私たちは、地域の子どもの成長発達を守り、保護者と共同で、ひとり一人を大切にその子らしく生きる力を育むことを支援します。



すこやか福祉会
イメージキャラクター
すこふくちゃん

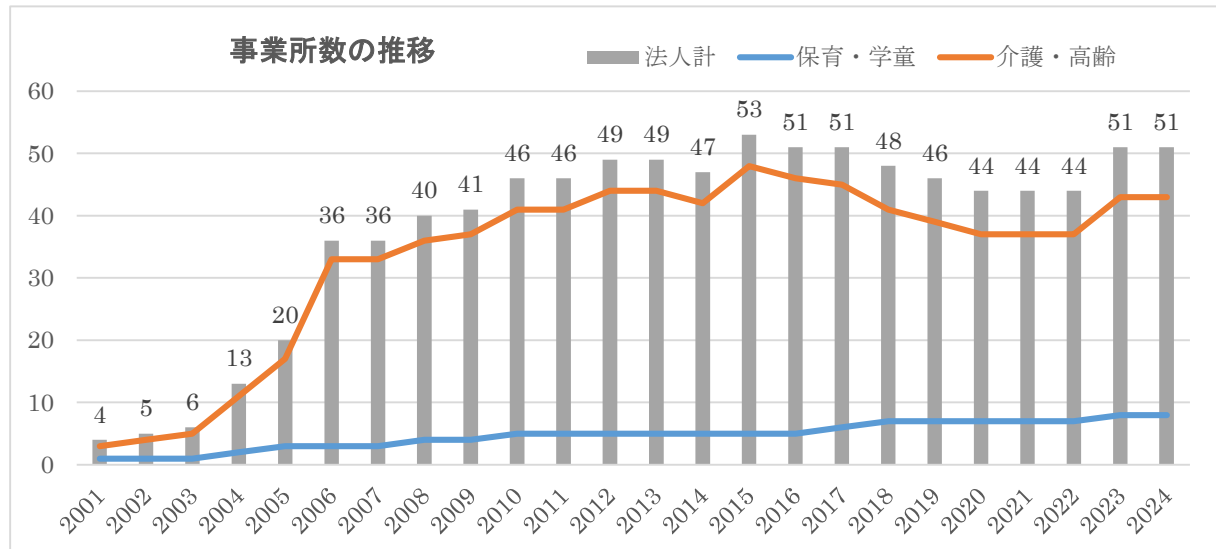
■法人設立	1998年(平成10年)2月27日
■本部所在地	東京都葛飾区新宿三丁目4番10号
■本部事務局	東京都足立区千住曙町4-16
■実施事業	第一種社会福祉事業 特別養護老人ホーム、都市型軽費老人ホーム 第二種社会福祉事業 保育所、放課後児童健全育成事業 一時預かり事業、通所介護 認知症対応型共同生活介護、訪問介護 障害者福祉サービス事業、移動支援事業 短期入所、小規模多機能型居宅介護 居宅介護支援、グループリビング 地域包括支援センター、介護タクシー

公益事業

2. 事業概要

- 事業地域 3都県(7区3市)
東京都(葛飾区・足立区・墨田区・港区・江戸川区・江東区・世田谷区)
埼玉県(三郷市・八潮市)
千葉県(流山市)
- 事業規模 年間事業収入 約38億5800万円(2024年度)
- 事業所数 51事業所(2025年3月31日時点) *地域包括支援センター分室・訪問介護サテライト事業所含む
特別養護老人ホーム1、都市型軽費老人ホーム1
認可保育所3、学童保育クラブ5
通所介護事業所7、グループホーム8、訪問介護事業所14、短期入所(特養併設)
認知症デイ2、小規模多機能4
居宅介護支援事業所3、地域包括支援センター2、グループリビング1
介護タクシー(訪問介護事業所併設)

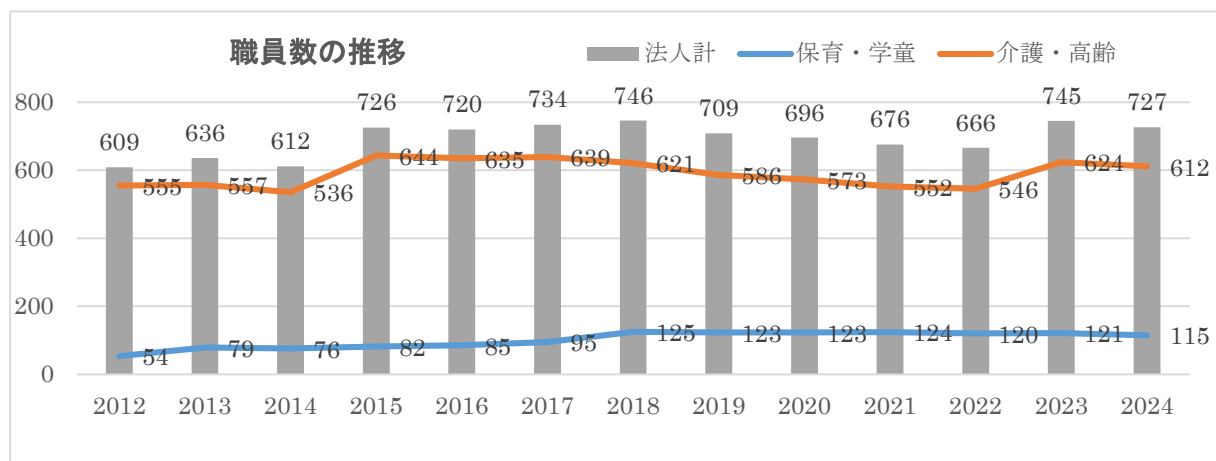
■事業所数の推移（各年度末時点）



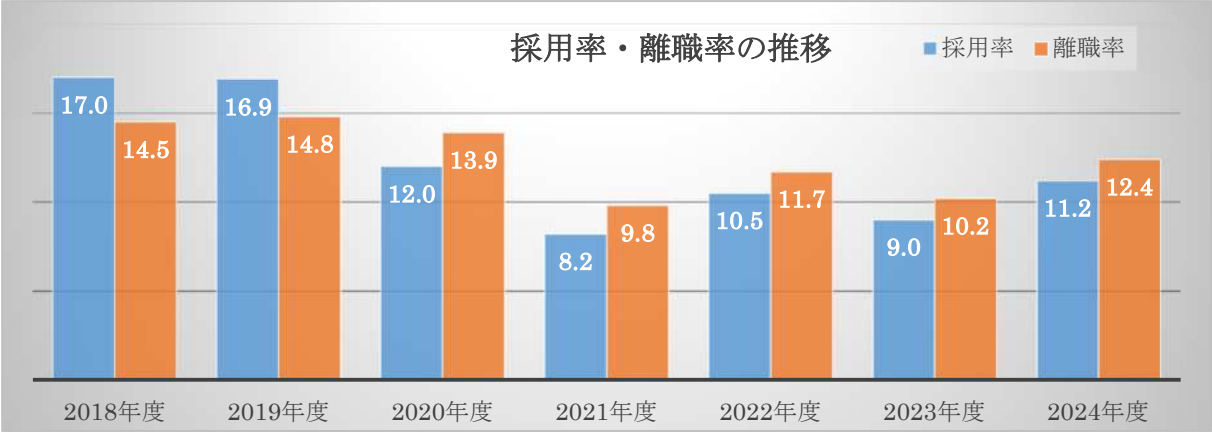
■職員数 738.1 名（2024 年度平均）

年度末時点	2024 年度	2023 年度	前年差	前年比	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度
職員数合計	727.0	745.0	▲18.0	97.6%	666.0	676.0	696.0	718.0
（常勤）	256.0	262.0	▲6.0	97.8%	232.0	246.0	252.0	265.0
（非常勤）	471.0	483.0	▲12.0	97.6%	434.0	430.0	444.0	453.0
常勤換算	535.5	535.4	+0.1	100.0%	474.9	480.3	496.3	522.8
離職率	12.4%	10.2%	▲2.2%	122.5%	11.7%	9.8%	13.9%	14.8%
離職率：介	12.0%	8.6%	▲3.4%	139.5%	12.1%	9.3%	13.2%	14.3%
離職率：保	17.4%	22.0%	+4.6%	79.1%	9.9%	12.2%	16.7%	16.9%

■職員数の推移（各年度末時点の職員総数）



■採用率・離職率の推移



3. 2024 年度の運営概要

■法人役員 2025 年 3 月 31 日現在)

理事 11 名（定数 8 ～ 15 名）	理事長	藤井 博之	（2021 年 6 月 28 日就任、第 5 代理事長）
	常務理事	菊地 雅彦	（業務執行理事）
理事		畑中 大吾	（業務執行理事）
	理事	阿部 孝史	：医療法人介護部長
		新井 敦子	：元特養・軽費老人ホーム施設長
		伊江 さおり	：医療法人介護副部長
		小笠原 光雄	：健康友の会事務局長
		落合 直人	：特別養護老人ホーム施設長
		園田 久子	：医師、医療法人理事
		中山 美千代	：特別養護老人ホーム施設長
		松岡 愛子	：保育事業部長
		田中 衆	：病院事務次長
監事 2 名（定数 2 ～ 3 名）		三井 亨	：社会福祉法人常務理事

■評議員 (2025 年 3 月 31 日現在)

評議員 13 名（定数 9 ～ 16 名）	伊藤 俊夫	：すこやか福祉会を支援する会会長
	大越 香葉	：東京民医連副事務局長
	北原 恵美子	：元社会福祉法人常務理事
	公文 共宣	：元NPO法人事務局長
	斉藤 加代	：社会福祉法人常務理事
	佐々木 史子	：社会福祉法人理事長
	佐藤 哲	：一般社団法人理事
	多田 誠一	：社会福祉法人理事長
	対馬 眞代	：保育園・学童保育保護者OB
	野口 修二	：生活協同組合専務理事
	橋本 宏子	：元大学教授
	原 玲子	：健康友の会副会長
	堀口 千恵子	：元社会福祉法人副理事長、元保育園園長

■評議員会 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日) 3 回開催 (定時 1 回、臨時 1 回)

	開催日	会場	評議員 出席	評議員 欠席	決議事項
定時	6 月 21 日	曙共同会館	12	1	2023 年度事業報告承認、2023 年度計算書類、資産登記変更

臨時	3月28日	曙共同会館	11	2	2024年度補正予算、2025年度事業計画、2025年度第一次事業予算、定款一部改定、役員報酬規程一部改定
----	-------	-------	----	---	---

■理事会（2024年4月1日～2025年3月31日）
 7回開催（定時7回）

	開催日	会場	出席		欠席		決議事項
			理事	監事	理事	監事	
定時	5月10日	曙共同会館	9	2	0	0	管理者人事、懲戒人事、2023年度経営報告、2024年度第2次予算案、ケアサポートセンターみたとと芝診療所居宅の事業所合同
臨時	6月3日	曙共同会館	9	2	0	0	2023年度事業活動報告、2023年度計算書類、資産登記変更、2024年度第2次予算、定時評議員会開催、夏期一時金支給額、外国人留学生の東社協介護福祉士等就学資金貸付
定時	7月5日	曙共同会館	11	2	2	0	設備投資・備品購入、こばとの森保育園大規模修繕、八潮市立おおぜ学童保育所指定管理契約継続、介護事業系就業規則
定時	9月6日	曙共同会館	9	2	2	0	設備投資・備品購入、最低賃金改定に伴う賃金規定改定、東京都介護福祉士専門学校入学者の介護留学生受け入れ
定時	11月1日	曙共同会館	10	2	1	0	管理者人事、設備投資・備品購入、こばとの森大規模修繕設計業務委託契約、こばとの森保育園大規模修繕基本設計業務費、南流山旧磯野邸売却
定時	1月10	曙共同会館	10	0	1	2	管理者人事、設備投資・備品購入、NPO法人柳原共同保育所支援、八潮おおぜ学童保育所指定管理変更、2025年度予算編成方針
定時	3月7日	曙共同会館	10	2	1	0	管理者人事、設備投資・備品購入、2024年度経営報告及び補正予算、2025年度事業計画、2025年度第1次予算、定款変更、役員報酬規程改定、ファミリーケア水元公園事業所閉鎖、保育事業部就業規則、利用者負担金回収不能損失処理、定款施行細則改定、臨時評議員会開催

■会計監査人＜協働公認会計士共同事務所＞往査の状況（2023年4月1日～2024年3月31日）

別紙会計監査人報告書参照

■監事監査（2024年4月1日～2025年3月31日）
 1回開催（監事全員出席）

5月30日（木）
 10:00～12:00、千住曙共同会館3階面談室

■苦情対応第三者委員会（2024年4月1日～2025年3月31日）
 1回開催（第三者委員4名全員出席）

11月6日（水）
 15:00～17:00

議題 GHみたてで発生した姪による利用者連れ去り
 苦情相談報告：タトゥーを入れた保護者のお迎え
 在宅支援相談室桜丘で発生した事案

4. 2024 年度事業活動のまとめ

はじめに 2024年度、私たちを取り巻く情勢

ロシアがウクライナへの侵攻を始めてから、3年以上が経過しました。戦闘が長期化する中、停戦を探る動きが出ています。一日も早い平和の実現が望まれます。しかし、大国が強者の論理で小国に決着を迫るようなことがあってはなりません。ロシアはウクライナ領の約2割を占領し、ウクライナはロシア西部クルスク州へ越境攻撃して一部地域を占拠しましたが、ロシアの優勢は変わっていません。人的被害は甚大となり、双方の戦死者数は推定各7万人超とされますが、さらに多数に上る可能性があります。ウクライナでは約1万2600人以上の民間人が命を落としました。被害が拡大する中、世論調査によりますと、停戦交渉に前向きなウクライナ国民が増えています。一方、ロシアはなりふり構わぬ人海戦術と物量作戦で戦闘を継続しているのが実態です。プーチン政権は、地方の住民に高給を支払い、志願兵として前線へ送り込む。友好国・北朝鮮の兵士も戦場に投入しています。ロシアによる占領が固定化することがあってはいけません。ウクライナ全体の安全が脅かされない保障も必要となります。プーチンは「ロシア帝国の再興」という野望を抱いているとされ、ウクライナの属国化を視野に入れており、一旦停戦したとしても再侵攻の恐れは拭えません。パレスチナ・ガザ地区での悲惨な人権侵害は長期化し、病院へも容赦なく空爆が行われています、多数の女性と子どもを含む多くのパレスチナ人が殺害されました。国際刑事裁判所（ICC）は、国民を意図的に攻撃し、飢餓を戦争の道具として利用したなどの行為を戦争犯罪と認定し、イスラエルのネタニヤフ首相に逮捕状を発行しましたが、アメリカ議会はICC制裁法を可決するなど、イスラエル寄りの姿勢に固執をしています。5月に入りイスラエルは軍事作戦を拡大する構えを示す一方、仲介国のカタールで再開されたイスラム組織ハマスとの間で、停戦と人質解放に向けた協議に臨んでいます。恒久停戦につながるように国際社会の支援が求められます。



2024年は、介護・医療・障害福祉のトリプル改定に加え、急速な物価および他産業の賃金上昇等による人員不足や経営難など、現場を揺るがす状況が押し寄せた年となりました。

2024年「老人福祉・介護事業」の倒産調査によると2024年の介護事業者（老人福祉・介護事業）の倒産が、過去最多の179件（前年比36.6%増）に達したことがわかりました。最多だった2022年の144件を大きく上回り介護職員不足や集合住宅型との競合、基本報酬のマイナス改定などが影響した訪問介護が86件（21.1%増）と全体の約半数（48.0%）を占め、過去最多を記録しました。多様化したニーズに対応に苦慮したデイサービスも過去2番目の56件、有料老人ホームも過去最多の18件と、いずれも増加したとの報告がありました。

高齢化が進むなか、人手不足の解消は容易ではなく、介護事業者の経営効率化は一刻を争う問題になっています。コロナ禍で悪化した経営を立て直せず、物価高の中で多様化するニーズや人材確保が難しい事業者の倒産は2025年も増加する可能性が高いとされています。

すこやか福祉会では事業所の廃止・休止はありませんでしたが、水道光熱費や食材料費の高騰もあり、やすらぎの郷やデイサービスでの経営においても大きな影響がありました。各自治体でのエネルギー価格・物価高騰支援補助金などを獲得し少しは軽減できたこともありますが、暫く続く物価高騰の対策として食費の値上げや事業所の合同などを検討する必要があります。

総務省は、外国人を含む15歳未満の子どもの数（2025年4月1日時点）が昨年より35万人少ない1366万人で、44年続けて減少したと発表しました。比較可能な1950年以降で初めて1400万人を割り込み、最低となりました。総人口に占める割合も最低を更新し、0・2ポイント減の11・1%。

出生数の落ち込みに歯止めがかからず、少子化の進行が改めて浮き彫りになりました。

私たちは、人口規模の縮小が急速な少子化と高齢化が進展するなかで、政治・経済、社会のあり方を提言し発信し続け、一人ひとりの人権が守られ、住み慣れた地域、本人が望む場所で豊かに暮らせる社会をつくっていくことが大きな課題になります。また、そのような状況下で、保育・介護などの福祉事業を進めていくことになり、さまざまな運動を進めていくことと並行して、私たちの事業・活動を守り、発展をめざしていくことが求められます。

①「全職員参加の経営」の実践で安定した経営体質づくり

○事業計画に連動した収入・支出予算管理

2024年度は、第2次5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）の4年目にあたり、ケアサポートセンターみたと芝診療所居宅の事業所合同や、こばとの森保育園での大規模修繕の準備を進めることができました。財務関係では財務プロジェクトを立ち上げ、中長期期での必要利益の算出や具体的な財務健全化への改革など第3次5カ年計画にむけた議論を実施することができました。経営面では新型コロナウイルス・インフルエンザのクラスターや慢性的人材不足や物価高騰などの影響もありましたが、介護ではマイナス改定の影響も懸念された訪問介護が+3100万円、小規模が+2800万円と稼働を上げることで前年から比べて大きく改善をすることができました。通所介護が新規利用者の獲得に苦戦することもあり、予算から3300万円の乖離があり昨年に続き結果を残すことが叶いませんでした。介護全体で見てもグループホームと居宅で大きく予算を超過することもあり、2360万円の黒字と前年度から大きく結果を生み出すことができました。保育事業部では、定員確保を目的とした地域に選ばれる保育園を目指し、行事参加への呼びかけや、園庭開放、一時保育等を各施設で地域に向けた催しものに取り組むことができました。おおぜ学童では「希望者全員が入所できる学童を！」を掲げ保護者と共に署名活動を進めることができました。こばとの森保育園では0歳児の欠員が続いてはいますが、3園でほぼ予算通りの3600万円を超える黒字となり安定した健全な経営が継続してできています。

○不採算事業所の経営対策、業務効率化等の改善課題への迅速な対応

今年度は廃止・休止となった事業所はありませんでしたが、いくつかの事業所で経営対策が必要となり、個別の経営対策会議の開催やエリアや地域、サービス別での経営検討を行うなど取り組んできました。東部地域では深刻なヘルパー不足もあるFC水元公園の継続について地域分析をしながら検討を進めてきました。又、青戸地域では家賃が高騰する中でデイサービスすこやか機能訓練室を改修し、ケアサポートかつしかの移転の検討を進めています。更に三郷地域でもFCみさと北を采女の郷へ移転の検討をしております。すこやかの家みたてでは毎年変動をする破格な賃料を下げるため、東京都と交渉をしましたが理解を得られない結果となりましたが、グループリビングでは港区からの広報誌掲載などの配慮もあり複数名の入居者を獲得することができました。居宅介護支援事業所の再編・大型化では青戸地域、みたと地域で実施し上位区分の加算を算定することができました。近隣事業所との連携も強化をしており、2025年度も更なる期待が持てます。

保育分野では、人材紹介会社を使つての人材確保など、保育事業部での経営対策の必要性が浮き彫りになっていますが、具体的な対策に着手できていない状況です。今後は保育園単体での求人活動を実施せずに法人本部事務局が介護分野と同様に深く係る必要があります。

費用面では、食材費、ガソリン代、光熱費などの物価高騰という社会的要因により、具体的な対策が必要です。個々の事業所で事業費・事務費の支出の見直しなど対策を進めてきました。

○老朽化した施設の修繕とよりよい施設への改修

すでに雨漏り等が発生し大規模改修が必要な建物が、あおと福祉の家（築20年）かなまち福祉の家（築20年）と財務プロジェクトで議論を進めてきましたが、2024年度については改修を見送ることとしました。その他の施設でも建設後10数年～20数年経過しているところがあり、計画的な改修工事が求められる状況です。特に小多機ひまわりの家の老朽化が進んでいるため、建て替えプロジェクトを設置し、東葛付属診療所への移転を検討していましたが、話がまとまらず継続課題となりました。開設27年目を迎えるこばとの森保育園の大規模修繕も葛飾区との交渉を進め、2026年2月工事完了を目指し準備を進めることができました。



②第2次5カ年計画（AreaMovement2025：2021～2025年度）の重点課題への果敢な取り組み

○特養ホーム小鳩園支援の継続

2024年8月に移転新築した社会福祉法人小鳩会との連携が更に深まり、定期協議や運営面での提案、幹部の出向支援を引き続き行っています。2025年3月に事業を開始した小規模多機能こばとへも準備段階から職員の研修等で協力をすることができました。

○旧さくら福祉会との合併の振り返り

旧さくら福祉会の所長との合併振り返りの話し合いを実施しました。合併前後の苦労や今後に関与する項目の確認を行いました。文化の違いや様々な規定の違いなど改めて意見交換を行うことで認識を統一することができました。

○待機児問題が続く学童保育クラブの新たな開設をめざす

学童保育では待機児解消を目的に空き教室を利用し、学童に入所できるまでの受け入れ場所としての「かつしかプラス」の話がありましたが職員体制の関係で2024年度は見送りました。引き続き2025年度に向けて、継続した議論を進めています。又、おおぜ学童では希望者全員が入所できる学童を掲げ保護者と共に署名活動を進めることができました。

○多職種協働や地域連携強化を目的に、各エリアに「運営協議会」の設置

第2次5カ年計画で各エリアに「運営協議会」の設置を掲げています。南部エリアでは「葛西みなみ医療福祉共同ビル連絡会」や「すこやかの家みたて連絡会」又、世田谷地域連携会議を勤医会の農大通り診療所と連携し開催され、地域情報の共有や合同避難訓練など定着するようになりました。また、葛飾区では昨年のケアマネ事業所の合弁を契機に新たに動き出しているところもありますが、一方では東都協議会の地区協議会が開店休業となっているエリアも散見され、まずは行政区の医療機関を中心とした地区協議会の再建が必要です。

③法人運営の新たな段階をめざすための幹部配置と事業活動を担う人材の確保と育成

○幹部再配置で、第2次5カ年計画を担う世代への交代

2024年6月に健和会から1名の事務管理を迎え入れました。本部事務局として法人の業務を中心に保険請求や行政関係の対応などで事業所とも深く係ることができています。まだ完全に世代交代は出来てはいませんが、随時引継ぎを進めていきます。介護幹部の登用についても若い職員が育ってきていることもあり、大胆な登用を含めて検討を開始しています。前年度からの課題である保育事業部での後任問題については2025年度の実現で確認されています。

○事業の成否がかかる人材の確保と育成

人材確保は引き続き厳しい1年でした。グループホームでの特に夜勤職員の確保に苦戦し、派遣に頼らざるを得ない状況が続いています。介護事業では「人財採用・教育・広報室」を中心に人材紹介会社に頼らない派遣職員0名を目指していましたが叶わない状況が続いています。新卒介護職採用では13名を目指していましたが、結果は4名と目標を大きく下回る結果となりました。離職させない職場づくりを目標に離職率10%以下をめざして取り組み、2024年度は法人全体で12.4%の到達で前

年度より2.2ポイント悪化し、目標を達成することができませんでした。採用率は年々低下傾向でしたが、2024年度は11.2（前年度9.0%）と2.2ポイントアップ（介護系9.5%、保育21.7%）することができました。人材不足の状況は介護系・保育ともに厳しい状況に変化はありません。保育事業部では人材紹介会社経由での中途採用が継続していますが、保育実習に来園した学生を獲得するなど将来を期待される職員を迎え入れることができました。

④社会福祉法人としての役割実践と平和や社会保障拡充、環境問題等の取り組み

○コロナ禍で明らかになった「いのちと人権」の危機からの転換をめざすあらゆる活動

法人独自減免制度については、コロナ禍で引き続き特徴的な取り組みとなりましたが、制度の活用面ではまだまだ不十分な部分があり、今後の課題となりました。今後の活動に大いに期待するところですが、福祉（介護・保育）相談に結び付けることができるような職員の「目とかまえ」が重要な課題です。

○介護ウェーブなど社会の「未来」を創る活動の一層の前進

7月から始まった介護ウェーブ2024請願署名の取り組みは、この間の介護をめぐる改悪に向けた動きの中、介護職員増やせを掲げ大きく進めてきました。多くの事業所で積極的に取り組み、協議会での署名の到達が6500筆を超えました。又、北千住や大塚駅での駅頭宣伝も実行し多くの国民へ訴えを続け、多くの方から支援や署名を頂くことができました。又、自治体キャラバンや予算要望、国会請願へも各事業部や地域ごとにそれぞれの意見を発信することができました。



○平和に向けた活動取り組み

2024年度も原水禁世界大会へ職員を派遣し平和に向けた活動を継続することができました。カンパ活動も法人全体で取り組み2名の職員を広島へ送り出すことができました。

○地域公益活動の実践

地域に根差した保育園・学童の運営を目指し、各施設で地域のニーズに合わせた取り組みを模索してきました。離乳試食会・影絵・園庭開放・一時保育など入園のきっかけの一つに繋がる様なアイデアを出し合う積極的な活動が出来ました。2024年度も小・中学生の職場体験やボランティアが、それぞれの施設に於いて、子ども達と良い関りをしてもらう事が出来ました。カフェひろばでは、リップルからお弁当を取り寄せ販売をすることで継続した開催をすることができました。今後はその日のセット材料をリップルから取り寄せ「ひろばで」調理をお弁当にして販売することを検討しています。

⑤様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と実践課題

○関連法令や社会的ルールの遵守などコンプライアンス教育の徹底と体制の構築、マニュアルの策定

法令遵守委員会を毎月開催し、日常的に整備を進めることができました。各サービス事業のコンプライアンス会議にて、介護報酬改定にて義務化された必須の研修や各事業部での年間計画を作成し、法定会議・研修計画・実施確認の仕組みを構築することができました。又、東京民医連主催の法令遵守学習会では、他法人の様々なケースを学び深めることができました。

○日常的なリスクマネジメントと重大事故が起こった際の対応ルールの確立

福祉サービスでのリスクマネジメントは、利用者満足度の向上や利用者の安心と安全を守る適切なサービス提供を実現することが目的です。安全委員会では健和会のリスクマネージャーに参加をもらい、事例を共有することで改善策や対応について学べる会議開催が可能となりました。

⑥経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

○法人ブランドの認知を広げるために法人事業計画に沿ったブランディング実践

社会福祉法人といえども事業を行う上でブランディングは重要なコンセプトです。強化する必要をまず職員一人ひとりが認識することが求められています。その中で、法人・事業所アピール、採用強化のための広報物、利用者増のための営業ツールの作成など、人財採用・教育・広報室が中心となって取り組むことができました。各、SNSでの定期配信については、日々の取り組みを収集強化によりInstagramと連動するSNSでの発信は週に2回程度のペースで実施をすることができました。そのことにより、介護及び法人の魅力発信に繋がっています。又、YouTubeでは更新頻度は少ないもののチャンネル登録数が2000名を超えることができました。

○広報紙「すみなれたまちで」の徹底した活用と送付先の拡大

広報紙「すみなれたまちで」の定期発行を継続して行い、送付先の拡大等によるアピール活動の強化を進めることが継続してできました。広報委員会を拡充し情報の収集や、他法人の取り組みなどを参考に法人ホームページと合わせ定期的な更新と発信を行なうことができました。

⑦その他の特徴的な事項

○子どもケア創造チーム

保育や学童保育の未来構想を含めて検討・企画する後継委員会として「子どもケア創造チーム」を立ち上げ2年目とりました。主な役割として、①大きな夢・希望を持ち、それに向けた具体的ケアを実践する、②情勢の変化や子ども政策の調査と学習を系統的に取り組む、③保育現場の「働き方改革」に系統的に取り組むことを目的に議論を深めることができました。情勢の変化を学び合うことについては、職員との情報共有が不十分なこともあり、周知学習方法を模索する必要があるなど課題が残りました。

○NPO法人柳原共同保育所からの支援要請への対応について

2024年6月に状況報告を中心に懇談を開始しました。理事の皆さんの高齢化に伴い将来を不安視した課題が中心となります。引き続きNPOとしてすこやか福祉会が経営に携わるか、或いは法人合併かを検討しています。双方の保育の実践や経営状況を理解する上で、両法人での理事や評議員をお互いが担うことで関係を深めるなど準備を進めています。

○竹友会からの職員派遣要請への対応について

2025年1月に社会福祉法人竹友会から、幹部事務職員の派遣要請書が届きました。2月に藤井理事長と懇談を経て4月に特養やわらぎ苑へ訪問をし（菊地、畑中、天野、宮下）運営内容・経営状況の報告を受けました。

5. 2024 年度研究発表・研修講演活動及び取材・記事掲載

①研究発表・研修講演活動

○葛飾区社会福祉法人ネットワーク定期総会：5月27日

「地域会議について」

統括マネジャー

天野 義久

○認知症事例検討会：5月30日

「地域包括支援センターみさと南主催事例発表」：5月30日

FCみさと山本

洋子 猪瀬 茜

○東京民医連・訪問介護報酬改定学習会：6月20日

「訪問介護介護報酬」

法人本部

畑中 大吾

○長野大学社会福祉学部介護福祉科講義：6月27日

「入浴・清潔に関するところとからだのしくみ」

統括マネジャー

天野 義久

○21 老福連職員研究交流集会 in 福島：6月28日

「訪問介護報酬改定を受けての現状と課題」

統括マネジャー

天野 義久

○長野大学社会福祉学部介護福祉科講義：7月3日

「身じたくに関するところとからだの仕組み」

南部マネジャー

高梨 達也

○葛飾区中之台小学校講師：7月6日

- | | | |
|---|-------------|--------|
| 「認知症サポーター養成講座」 | 統括マネジャー | 天野 義久 |
| ○長野大学社会福祉学部介護福祉科講義：7月10日 | | |
| 「排泄に関するところとからだのしくみ」 | 埼玉葛エリアマネジャー | 猪瀬 茜 |
| ○長野大学社会福祉学部介護福祉科講義：7月17日 | | |
| 「移動・移乗に関するところとからだのしくみ」 | 葛飾やすらぎの郷 | 福留 孝枝 |
| ○三郷市在宅医療・介護連携推進協議会 候補啓発部会7月 | | |
| 「介護の絵本」「人生会議の絵本」「在宅看取りの絵本」出演 | デイ采女の里 | 松村 佐知子 |
| ○全日本民連 2024 年度介護報酬改定対応検討交流会：9月26日 | | |
| 「介護保険改定に伴う訪問介護への影響と対応について」 | 埼玉葛エリアマネジャー | 猪瀬 茜 |
| ○東京都社会福祉協議会地域公益活動推進協議会：9月27日 | | |
| 「新宿地区エリアマップ作製の取り組みについて」 | 統括マネジャー | 天野 義久 |
| ○第16回全日本民連看護介護活動研究交流集会 In 熊本：10月27日～28日 | | |
| 「居宅介護支援事業所合併による事業所大規模化と経営改善」 | 統括マネジャー | 天野 義久 |
| ○第16回全日本民連看護介護活動研究交流集会 In 熊本：10月27日～28日 | | |
| 「インカムを使い業務効率&接遇強化ができた」 | デイみたて | 湯田 達也 |
| ○第16回全日本民連看護介護活動研究交流集会 In 熊本：10月27日～28日 | | |
| 「ノーリフティングケアの挑戦」 | 葛飾やすらぎの郷 | 福留 孝枝 |
| ○第16回全日本民連看護介護活動研究交流集会 In 熊本：10月27日～28日 | | |
| 「ポスター発表・パッド交換の低頻度化における業務改善」 | | |
| | 葛飾やすらぎの郷 | 戸館 和也 |
| ○第16回全日本民連看護介護活動研究交流集会 In 熊本：10月27日～28日 | | |
| 「ポスター発表・心地よい豊かな生活を送るために～ポジショニングを工夫して」 | | |
| | 葛飾やすらぎの郷 | 菅岩 香 |
| ○東都協議会制度共有（中級A）：11月5日 | | |
| 「認知症の正しい理解のススメ」 | 南部マネジャー | 高梨 達也 |
| ○すこやか福祉会第三者評価委員会：11月6日 | | |
| 「GHみたて利用者連れ去りの事例」 | 南部マネジャー | 高梨 達也 |
| ○すこやか福祉会第三者評価委員会：11月6日 | | |
| 「在宅支援相談室桜丘の家族からのクレーム事例」 | 南部マネジャー | 高梨 達也 |
| ○東都協議会介護教育委員会4年目研修：11月7日 | | |
| 「法令遵守について」 | 南部マネジャー | 高梨 達也 |
| ○東京民連感染対策学習会：11月25日 | | |
| 「葛飾やすらぎの郷感染対応報告」 | 葛飾やすらぎの郷 | 福留 孝枝 |
| ○東都協議会第8回看護活動交流集会：11月30日 | | |
| 「特養における多職種協働について」 | 葛飾やすらぎの郷 | 落合 直人 |
| ○21・老副連第22回職位研修交流会大阪集会：12月7日～8日 | | |
| 「姿勢改善への取り組み」 | 葛飾やすらぎの郷 | 遊佐 記子 |
| ○21・老副連第22回職位研修交流会大阪集会：12月7日～8日 | | |
| 「ノーリフティングケアの挑戦」 | 葛飾やすらぎの郷 | 中村 友樹 |
| ○葛飾区一之台中学校：12月14日 | | |
| 「認知症サポーター養成講座」 | 統括マネジャー | 天野 義久 |
| ○介護活動交流集会 | | |
| ○東都協議会介護教育委員会役職者研修：12月17日 | | |
| 「職員の定着を実現するためのチームビルディングと役職者がすべき行動」 | 法人本部 | 中村 寛史 |
| ○東都協議会介護活動交流集会：12月21日 | | |
| 「困ったときのファミリーケアさん～生き生きと働ける職場を目指して」 | FC大島 | 山田 悦子 |

- 「曖昧をクリアに」 ひまわりの家 荒川 真理子
「調理ケアを通して学んだ事」 F Cみさと 上村 真央
○2024 年度東都保険医療福祉協議会 役員・評議員・管理者合同集会
「介護保険報酬改定対応～訪問介護の仕組み」 埼葛エリアマネジャー猪瀬 茜
○東洋大学：1 月 17 日
「介護福祉士コース交流会&ホームカミング」における卒業生代表プレゼンテーション
F Cみさと 上村 真央
○第 15 回事務活動検討交流会：1 月 18 日
「事務って、今何をしたらいい！？小又目線で考えてみる」 葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
○葛飾区清和小学校：1 月 28 日
「認知症講座」 東葛マネジャー 天野 義久
○立川市社会福祉法人地域貢献活動推進ネットワーク：2 月 13 日
「葛飾社会福祉法人ネットワーク新宿エリアの取り組み」
統括マネジャー 天野 義久
○第 19 回三郷北部地域医療・福祉活動交流集会
「今、必要なことって何？私たちにできることは何？パネリスト
F Cみさと北 山田 舞子 デイ采女の里 松村 佐知子
○保険証がやっぱり必要です！国会内集会：2 月 20 日
「マイナ保険証に関する介護現場での実態について」 南部マネジャー 高梨 達也
○東部統括ブロック医療福祉活動交流集会：2 月 22 日
「困ったときのファミリーケアさん～生き生きと働ける職場を目指して」 F C大島 山田 悦子
○東京民医連 西南ブロック第 11 回活動交流集会：3 月 15 日
「作業療法士加入による波及効果」 デイさくら草 矢野 可奈子
○健康相談会：3 月 25 日
「介護施設のあれこれ・・・」 HSきずな 影山 佳子 ひまわりの家 佐藤 淑子

②取材・記事掲載

- 「シルバー新報」：4 月 12 日「トライ&エラーのノーリフト 使い続けて分かる利便性」
葛飾やすらぎの郷 福留 孝枝
○協議会だより：5 月号 「法人を超えた居宅合併」
統括マネジャー 天野 義久
○健康のひろば：5 月号 「事業所紹介」
F Cみさと 山本 洋子
○協議会だより：7 月号 「すこやか祭り」
葛飾やすらぎの郷 御代田 祐介
○健康のひろば：7 月号 「事業所紹介」
馬渡さん家 佐藤 淑子
○月刊ゆたかなくらし：7 月号 「第 9 期介護保険制度改定をめぐって～訪問介護の実態を知って欲しい」
埼葛エリアマネジャー 猪瀬 茜
○協議会だより：8 月号 「21 老副連 2024 年度総会に参加して」
統括マネジャー 天野 義久
○協議会だより：8 月号 「葛飾やすらぎの郷の大規模修繕」
葛飾やすらぎの郷 中村 友樹
○やしお市議会だより：8 月号 「介護職員・介護支援専門員等へ処遇改善事業の実施」を求める請願書
社会福祉法人すこやか福祉会
○協議会だより：10 月号 「さんま大会」
葛飾やすらぎの郷 中根 光治
○しんぶん赤旗：10 月 24 日 「訪問介護引き下げ半年」

- 協議会だより：11月号 「20代の目～達成感を感じたとき、また頑張ろうと思います。」
 埼玉葛エリアマネジャー 猪瀬 茜
 葛飾やすらぎの郷 高橋 キムガン
- 健康のひろば：11月号 「キッズけあ」
 埼玉葛エリアマネジャー 猪瀬 茜
- 「朝日新聞」：11月3日 「マイナ保険証 預かるリスク」
 統括マネジャー 天野 義久
- 住みなれたまちで11月号 「エリアマネジャーの紹介」
 南部マネジャー 高梨 達也
- NHK首都圏NEWWEB：11月15日 「マイナ保険証移行へ 申請急増 戸惑いの声も」
 葛飾やすらぎの郷 落合 直人
- 協議会だより：12月号 「ノーリフティングケアの挑戦」
 葛飾やすらぎの郷 福留 孝枝
- 健康のひろば：12月号 「介護署名のよびかけ」
 南部マネジャー 高梨 達也
- 協議会だより：12月号 「介護ウェブの取り組み」
 南部マネジャー 高梨 達也
- 「テレビ朝日・有働タイムズ」：12月1日 「マイナ保険証について」
 統括マネジャー 天野 義久
- 「読売新聞」：12月2日 「マイナ保険証 高齢者施設管理できない」
 統括マネジャー 天野 義久
- 「テレビ朝日・スーパーJチャンネル」：12月3日 「マイナ保健証について」
 統括マネジャー 天野 義久
- 「テレビ朝日・羽鳥慎一モーニングショー」：12月4日 「マイナ保険証について」
 統括マネジャー 天野 義久
- 住みなれたまちで12月号 「デイさくら草の紹介」
 デイさくら草 矢野 可奈子
- 東京新聞朝刊・WEB版：12月24日 連載「取り残される人たち」検証マイナ保険証～特養
 「マイナ保険証は預かれませんか」政府が示す管理法、とてもムリ現場がそれどころではない忙しさ
 葛飾やすらぎの郷 落合 直人
- 協議会だより1月号 「20代の目～自信を持って支援したい」
 葛飾やすらぎの郷 大津 綾菜
 「2024年度東都保険医療福祉協議会・役員・評議員・管理者合同集会
 「介護報酬改定対応～訪問介護の取組み～」 埼玉葛エリアマネジャー 猪瀬 茜
- 「民医連新聞」：2月3日 「マイナ保険証は預かれない」
 統括マネジャー 天野 義久
- 協議会だより：2月号 「マイナ保険証について」
 統括マネジャー 天野 義久
 「調理ケアを通して学んだこと」
 FCみさと 上村 真央
 「ケアの労働賃金はなぜ低いのか」の公演を聞いて
 FCみさと 山本 洋子
- 毎日新聞WEB版：2月19日 「しわり広がるマイナ保険証の登録解除、申請者に共通する事情とは」
 葛飾やすらぎの郷 落合 直人
- 毎日新聞朝刊：2月22日 「マイナ保険証相次ぐ解除～特養など高齢者施設「管理できない」」
 葛飾やすらぎの郷 落合 直人
- 協議会だより：3月号第15回事務活動検討会 最優秀賞紹介
 「事務って、今何をしたらいい！？小又目線で考えてみる」

葛飾やすらぎの郷 小又 維鎮
「20代の目」～笑顔を大切に「私しにできることは？」と考えながら
葛飾やすらぎの郷 遊佐 記子
「関東地協 介護職部会合同学習会で学んだこと」

ひまわりの家 荒川 真理子
○東葛社保・平和・地域活動ニュース 024号：HSきずな 古谷 徹
038号：HSきずな 影山 佳子

6. 法人の沿革

- 1998年
 - 2月 社会福祉法人すこやか福祉会 法人認可
 ※初代理事長：内村 逸郎（初代常務理事：深沢 大三）
 - 4月 こばとの森保育園（定員65名） 開園（葛飾区東水元）
- 1999年
 - 7月 特養ホーム等高齢者施設づくりをすすめる会 発足
 ※のちの、すこやか福祉会を支援する会
- 2001年
 - 4月 こばとの森保育園 増築（定員80名）
 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 開設（葛飾区新宿）
 （定員：入所80名、ショートステイ16名）
 特養併設新宿在宅サービスセンター（定員20名） 開設（葛飾区新宿）
 - 5月 グループホーム福さん家 開設（墨田区吾妻橋）定員9名
- 2002年
 - 8月 かばらデイサービスセンター 開設（足立区東和）定員30名
 ※医療福祉複合施設（医科・歯科診療所併設）
- 2003年
 - 3月 ※理事長交代 第2代：増子 忠道（常務理事交代：竹森 チャ子）
 - 5月 在宅サービスセンター葛西 開設（江戸川区南葛西）定員15名
 ※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2004年
 - 1月 あおと福祉の家 開設（葛飾区青戸） ※福祉複合施設
 グループホーム青戸（定員18名）
 デイサービスセンターすこやか（定員30名）
 ファミリーケアすこやか：訪問介護 3事業所開設
 - 4月 金町学童保育クラブ（定員57名） 開設（葛飾区東金町）
 - 6月 グループホーム千住大川 開設（足立区千住大川）定員18名
 - 12月 かなまち福祉の家 開設（葛飾区東金町） ※福祉複合施設
 グループホームかなまち（定員9名）
 デイサービスセンターかなまち（定員30名） 2事業所開設
- 2005年
 - 4月 つばさ学童保育クラブ（定員30名） 開設（葛飾区金町）
 - 6月 ファミリーケア芝：訪問介護 開設（港区新橋）
 - 9月 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 開設（港区港南）
 - 11月 グループホームかねがふち（定員9名） 開設（墨田区墨田）
 ※医療福祉複合施設（医科診療所併設）
- 2006年
 - 1月 すこやかの家みたて 開設（港区港南） ※福祉複合施設
 グループホームみたて（定員18名）
 デイサービスセンターみたて（定員15名）
 高齢者グループリビングみたて：高齢者住宅（8室）
 ファミリーケアみたて：訪問介護 4事業所開設
 ケアサポートセンターみたて：居宅介護支援 移転
 - 5月 ※理事長交代 第3代：竹森 チャ子（常務理事交代：田制 昭平）
 - 5月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務受託
 - 8月 株式会社ファミリーケアから東京都内事業所運営移管により14事業所開設
 千住大川デイサービスセンター（定員30名）（足立区千住大川）

デイサービスセンターかねがふち（定員 30 名）（墨田区墨田）
 デイサービスセンターなの花（定員 30 名）（江東区大島）
 ファミリーケア立石：訪問介護（葛飾区東立石）
 ファミリーケア北千住：訪問介護（足立区千住仲町）
 ファミリーケア柳原：訪問介護（足立区柳原）
 ファミリーケア西新井：訪問介護（足立区西新井栄町）
 ファミリーケア綾瀬：訪問介護（足立区東和）
 ファミリーケアすみだ：訪問介護（墨田区墨田）
 ファミリーケア新小岩：訪問介護（江戸川区松島）
 ファミリーケア葛西：訪問介護（江戸川区西葛西）
 ファミリーケア大島：訪問介護（江東区大島）
 ファミリーケア深川：訪問介護（江東区東陽町）
 ファミリーケア訪問入浴：訪問入浴介護（足立区千住大川）

1 2 月 認知症デイサービスよりみち（定員 11 名） 開設（足立区柳原）

■2007年

1 月 広報紙「住みなれたまちで」創刊
 7 月 本部事務局移転（足立区千住曙町）

■2008年

3 月 こばとの森保育園 10 周年記念誌「たからもの 子どもたちが豊かに育つために」発行
 4 月 地域包括支援センター青戸 開設（葛飾区青戸）※高齢者総合相談センター青戸
 4 月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 開設（足立区千住大川）
 4 月 よりみちの家 開設（足立区柳原） ※福祉複合施設
 小規模多機能サービスよりみちの家（定員 18 名）
 高齢者グループリビングよりみちの家：高齢者住宅（5 室） 2 事業所開設
 認知症デイサービスよりみち 移転（定員 12 名）

4 月 小規模多機能サービス馬渡さん家（定員 18 名） 開設（三郷市鷹野）
 4 月 はやぶさ学童保育クラブ（定員 30 名） 開設（葛飾区金町）
 4 月 ファミリーケア立石：訪問介護 移転（葛飾区東立石）
 5 月 ファミリーケア水元公園：訪問介護 開設（葛飾区水元）
 5 月 （常務理事交代：菊地 雅彦）

■2009年

1 月 ファミリーケア深川：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア大島に統合
 1 月 ファミリーケアすこやか：訪問介護 休止
 2 月 ファミリーケア花千寿：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア北千住に統合
 1 2 月 ファミリーケアあおと（旧名称ファミリーケアすこやか）再開

■2010年

4 月 東金町小ひよどり学童保育クラブ（定員 50 名）開設（葛飾区東金町）
 5 月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 開設（葛飾区青戸）
 5 月 地域包括支援センター青戸 亀有分室 開設（葛飾区亀有）
 ※高齢者総合相談センター亀有
 6 月 ※理事長交代 第4代：中山 美千代
 1 2 月 業平医療福祉会館 開設（墨田区業平）

※医療福祉複合施設（医科診療所・訪問看護ステーション併設）

グループホームすこやかの家業平（定員 9 名）

小規模多機能サービスすこやかの家業平（定員 18 名） 2 事業所開設

■2011年

9 月 葛飾やすらぎの郷開設 10 周年祝賀会
 葛飾やすらぎの郷開設 10 周年記念誌「時代を拓く施設づくり」発行

■2012年

2 月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援 移転（葛飾区青戸）
 7 月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 開設（葛飾区水元）

1 1 月 在宅サービスセンター葛西：通所介護 廃止 ※小規模多機能に事業転換

■2013年

1 月 小規模多機能サービスすこやかの家業平 廃止 ※複合型サービスに事業転換
 2 月 複合型サービスすこやかの家業平（定員 24 名） 開設（墨田区業平）

※小規模多機能サービスから事業転換

- 2月 すみれ訪問看護ステーション 開設（墨田区業平） ※健和会から譲渡
- 2月 すこやかの家かねがふち 開設（墨田区墨田） ※福祉複合施設
ケアハウスかねがふち（定員20名）：都市型軽費老人ホーム 開設
デイサービスセンターかねがふち 移転
ファミリーケアすみだ：訪問介護 移転

- 2月 小規模多機能サービス葛西みなみ（定員25名） 開設（江戸川区南葛西）
- 4月 八潮かえで保育園（定員85名） 開設（八潮市大瀬）

■2014年

- 3月 金町学童保育クラブ 休止 ※建替えのため
- 7月 千住大川デイサービスセンター：通所介護 廃止
- 9月 ファミリーケア北千住：訪問介護 移転（足立区千住大川町）

- 12月 デイサービスセンターなほの花：通所介護 廃止

■2015年

- 2月 金町学童保育クラブ 再開
- 2月 はやぶさ学童保育クラブ 廃止 ※再開した金町学童保育クラブに統合
- 2月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更
（定員：入所84名、ショートステイ12名）

- 3月 介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 開設（江東区業平）
- 3月 すこやか福祉会5ヵ年計画（2015年～2019年）策定
- 5月 ファミリーケア北千住：訪問介護 廃止 ※ファミリーケア柳原に統合
- 8月 高齢者総合相談センター亀有（地域包括支援センター青戸亀有分室）移転
（葛飾区亀有）

- 12月 株式会社ファミリーケアからの介護事業所運営移管により7事業所開設
デイサービスセンターなごみ（定員30名）（三郷市鷹野）
デイサービスセンター采女の里（定員33名）（三郷市采女）
ファミリーケアみさと：訪問介護（三郷市鷹野）
ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護（三郷市戸ヶ崎）
ファミリーケアみさと北：訪問介護（三郷市采女）
ファミリーケア松戸：訪問介護（松戸市馬橋）
ファミリーケア八潮：訪問介護（八潮市中央）

- 12月 ファミリーケア柳原：訪問介護 移転（足立区柳原）

■2016年

- 4月 ファミリーケア立石：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 4月 ファミリーケア芝：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 5月 ファミリーケアあおと 立石営業所 開設
- 5月 ファミリーケアみたて 芝営業所 開設
- 7月 ファミリーケア松戸：訪問介護 廃止
- 9月 ファミリーケア西新井：訪問介護 廃止

■2017年

- 3月 子ども食堂「カフェひろば」開始（葛飾区東金町）
- 4月 おおぜ学童保育所（定員80名）開設（八潮市大瀬）※八潮市から指定管理者受託
- 8月 ファミリーケア綾瀬：訪問介護 廃止 ※翌月サテライト営業所開設
- 9月 ファミリーケア柳原 綾瀬営業所 開設
- 9月 苦情対応第三者委員会スタート

- 10月 介護事業部組織再編 サービス事業部制からエリア事業部制に再編
葛飾エリア、足墨エリア、湾岸エリア、埼玉エリアの4つのエリアでスタート

- 12月 ファミリーケア大島：訪問介護 移転（江東区大島）

■2018年

- 3月 介護相談室みずもと：居宅介護支援 廃止 ※あおと介護保険相談室に統合
- 3月 東京都港区高齢者集合住宅生活援助員業務 受託終了
- 4月 野のはな保育園（定員80名） 開設（足立区西加平）
- 4月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更

(定員：入所 88 名、ショートステイ 8 名)

- 4 月 介護職員学業保障制度開始：2 名入職（千住介護福祉専門学校入学）
- 5 月 複合型サービスすこやかの家業平 廃止 ※6 月に健和会に譲渡
すみれ訪問看護ステーション 廃止 ※6 月に健和会に譲渡
介護相談室やなぎしま：居宅介護支援 廃止
- 6 月 すこやか福祉会 20 周年記念誌「創立 20 年の軌跡」発行
- 7 月 すこやか福祉会 20 周年記念講演・祝賀会（テクノプラザかつしか）
すこやか福祉会 20 周年記念誌「子育て応援ブックレット-たからもの」発行
- 9 月 複合施設 T P G ケアテラスよまき 開設（三郷市鷹野）
小規模多機能サービス馬渡さん家 移転
ファミリーケア戸ヶ崎：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケアたかの
- 2019年
- 2 月 グループリビングよりみちの家 廃止 ※3 月に保健医療福祉協同組合に譲渡
- 3 月 ファミリーケアあおと立石営業所：訪問介護 廃止
※翌月、ファミリーケアあおとに統合
- 4 月 ファミリーケアあおと：訪問介護 移転（葛飾区青戸）
- 4 月 昨年度に引き続き介護職員学業保障制度実施
：3 名入職（千住介護福祉専門学校入学）
- 4 月 ファミリーケア新小岩：訪問介護 廃止 ※翌月、ファミリーケア船堀に統合
- 5 月 ファミリーケア葛西：訪問介護 移転・名称変更：ファミリーケア船堀
（江戸川区東小松川）

- 2020年
- 6 月 かばらデイサービスセンター：通所介護 廃止

- 7 月 こばとの森保育園 隣地購入（葛飾区東水元）

- 2021年
- 3 月 ファミリーケアみたて芝営業所：訪問介護 廃止

※翌月、ファミリーケアみたてに統合

- 4 月 デイサービスセンターかねがふち

：通所介護から認知症対応型通所介護に事業転換

- 4 月 グループホーム福さん家 土地・借地権・建物購入（墨田区吾妻橋）

- 6 月 ※理事長交代 第 5 代：藤井 博之

- 9 月 東金町小ひよどり学童保育クラブ 移転（葛飾区東金町）

定員変更（50 名→75 名）

- 1 1 月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 大規模修繕工事着工

（2022 年 10 月完了）

- 1 1 月 こばとの森保育園 避難口新設工事着工（2022 年 1 月完了）

- 2022年
- 4 月 こばとの森保育園 認可定員変更（91 名→84 名）

- 4 月 つばさ学童保育クラブ 金町小学校内に移転（葛飾区金町）

- 4 月 遺贈により土地・建物取得（流山市南流山・松戸市松戸）

- 2023年
- 3 月 東京さくら福祉会との合併基本合意書・合併契約書締結

- 5 月 特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 定員区分変更

(定員：入所 91 名、ショートステイ 5 名)

- 1 1 月 東京さくら福祉会との法人合併（存続法人：すこやか福祉会）で 6 事業所開設

グループホームさくらの家（定員 18 名）（世田谷区桜丘）

デイサービスセンターさくら草（定員 28 名）（世田谷区桜丘）

ヘルパーステーションさくら：訪問介護（世田谷区桜丘）

在宅支援相談室桜丘：居宅介護支援（世田谷区桜丘）

小規模多機能サービスひまわりの家（流山市三輪野山）

ヘルパーステーションきずな：訪問介護・介護タクシー

（流山市江戸川台西）

- 1 1 月 常務理事 2 名体制（菊地雅彦、畑中大吾）

■2024年

2月 カナリア学童保育クラブ 開設（葛飾区金町）

2月 あおと介護保険相談室：居宅介護支援（葛飾区青戸） 移転・名称変更

ケアサポートかつしか：居宅介護支援（葛飾区東立石）

※健和会四ツ木診療所居宅介護支援事業所と事業所合同

7月 ケアサポートセンターみたてと芝診療所居宅の事業所合同

東都協議会介護活動交流集会 2024

